

沖縄の国際物流戦略策定に向けた検討項目（案）

平成 19 年 3 月 27 日

目 次

1. 沖縄における国際物流戦略	・ ・ ・	1
2. 検討項目（案）	・ ・ ・	2

沖縄における国際物流戦略

シンポジウムの開催 18年12月9日

- * 県民に対して国際物流の重要性を提起
- * 「沖縄版国際物流戦略チームを設立すべき」との提言



沖縄国際物流戦略チームの開催 19年3月27日

- 会 長: 沖縄県商工会議所連合会会長
事務局: 沖縄県商工会議所連合会・沖縄総合事務局開発建設部
- ・ 那覇港を中心とした国際物流拠点の形成
 - ・ 中城湾港における流通加工港湾の実現
 - ・ 県全体の物流ネットワーク強化
- 等を議論

* 関係者からのヒアリング



- * 会合を2～3回開催
- * 別途幹事会にて議論

提言のとりまとめ 20年2月頃

- * 課題の克服に向けた**具体的戦略**の策定
- * 官・民が一体となった取り組み



シンポジウムの開催 20年3月頃

- * 戦略チームの提言をPR
- * 実現に向けての取り組みに対して議論



具体的な取り組みの実施

- * 効率的・効果的な国際物流体験の構築に向けて、**関係者が連携**して、提言で出された具体的戦略の実現に努める。

行政における施策の反映

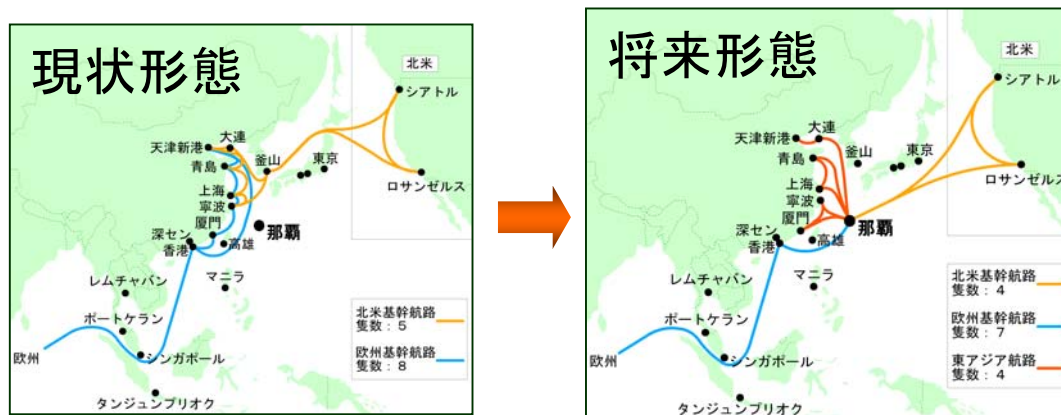
- * 次期沖縄振興計画(平成24年度～)
- * 次期沖縄における港湾ビジョン(平成20年度～)
- * 県内主要港湾の港湾計画改訂(平成20年代前半)



**沖縄における
自立型経済の構築の実現化へ！**

検討項目（案）

1. 那覇港を中心とした国際物流拠点（貨物の中継拠点）の形成



2. 中城湾港における流通加工港湾の実現



3. 県全体における物流ネットワークの強化



検討項目（案）

1. 那覇港を中心とした国際物流拠点（貨物の中継拠点）の形成

[背景]

- * アジア・太平洋地域における沖縄の地理的優位性
- * アジア経済の一体化による物流の準国内化

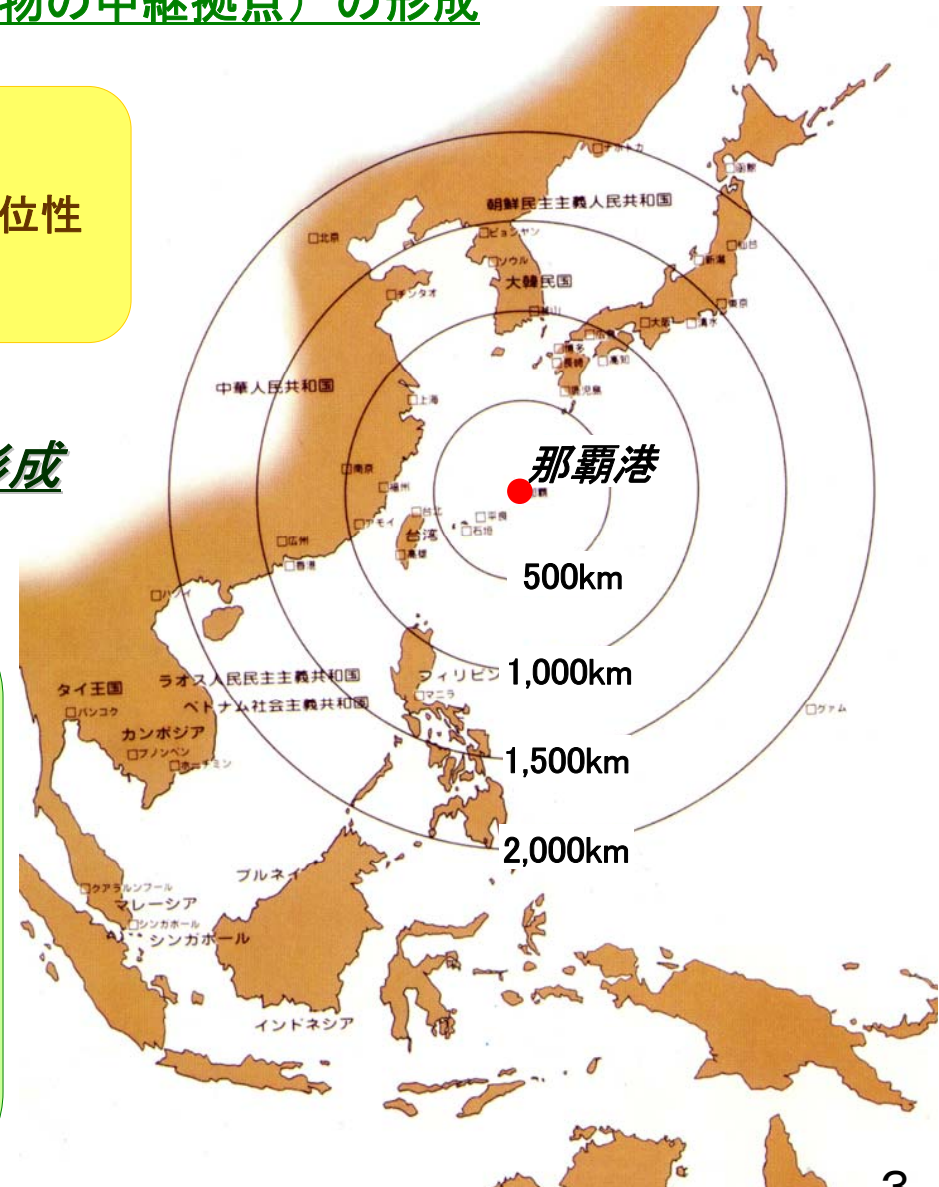
国際物流拠点（貨物の中継拠点）の形成

[効果]

- * 物流コストの低減
 - 輸入・移入品の価格低減
 - 県内産業の競争力強化
- * 国際物流関連産業の構築
 - 新たな雇用の創出

自立型経済
構築に寄与

港湾を「地場産業」として捉え、戦略的に
その発展に向けた施策を打ち出す必要あり！



検討項目（案）

国際物流拠点（貨物の中継拠点）の形成の実現に向けて

[STEP 1：海外から那覇港への直行輸入ルートの確立]

（施策の効果）

- * 輸送コストの低減による輸入品の価格低下

（想定される施策（案））

- * 県内企業による共同輸入の促進

（実現に向けての課題）

- * 共同輸入の実施に向けた企業間の連携
- * 国際航路網の利便性確保

[STEP 2：「海外－那覇港－本土」物流ルートの開拓]

（施策の効果）

- * 沖縄－本土間の輸送コストの低減
- * 県内産業の競争力強化

（想定される施策（案））

- * 空コンテナの有効活用
- * 国際ロジスティックセンターの活用による製品の高付加価値化
- * 那覇港と那覇空港との近接性を活かしたシー＆エアー輸送の実施

（実現に向けての課題）

- * 国際・国内航路網の更なる充実
- * 県内産業の育成によるローカル貨物の創出

[STEP 3：国際海上コンテナ輸送の中継基地化]

（施策の効果）

- * 国際物流関連産業の構築による雇用の拡大

（想定される施策（案））

- * 国際航路網の強化
- * 船社へのインセンティブの付与

（実現に向けての課題）

- * 船社のコストを抑えるための支援措置の検討
- * 港湾サービスの更なる充実（ソフト・ハード）

検討項目（案）

2. 中城湾港における流通加工港湾の実現

[背景]

- * 港湾施設に隣接した広大な工業用地
- * 日本唯一の特別自由貿易地域の指定



流通加工港湾の実現



[効果] 県内産業の振興及び雇用機会の創出

ソフト（特別F T Z制度）とハード（港湾整備）の連携による経済振興策のモデル事例！

流通加工港湾の実現に向けて

[STEP 1：港湾機能の充実]

(施策の効果)

- * 定期航路開設に向けた受け入れ態勢の整備
- ##### (想定される施策（案）)
- * 大型船の入港に対応可能な港湾整備の促進
 - * 港湾E D Iシステムの導入やC I Q体制の確保

[STEP 2：定期航路網の充実]

(施策の効果)

- * 那覇港からのシフトによる輸送コストの低減
- * 新港地区立地企業に対する利便性向上

(想定される施策（案）)

- * 特別F T Zと一体となった港湾施設の運用
- ##### (実現に向けての課題)
- * 企業誘致によるローカル貨物の創出

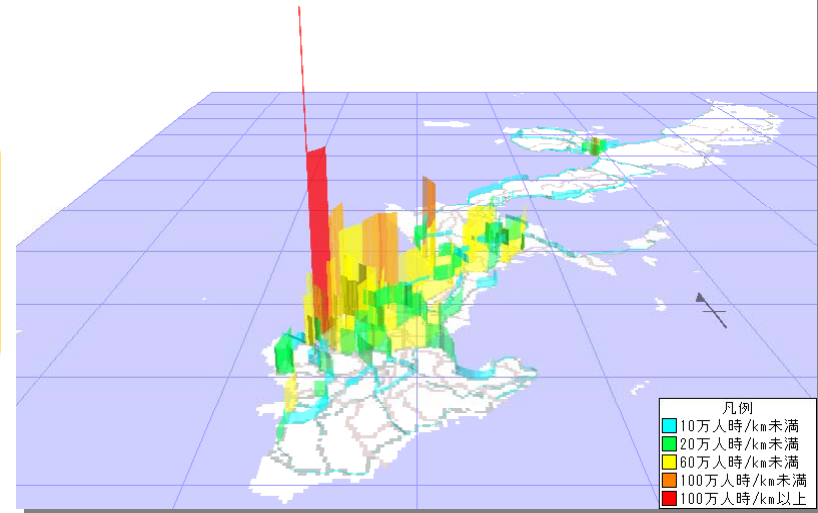
検討項目（案）

3. 県全体における物流ネットワークの強化

[背景]

- * 主要道路や港湾の混雑による物流の非効率化
- * 物流機能の「真の24時間365日化」の実現
(定期航路の不足・夜間の割り増し費用の負担等)

物流ネットワークの強化



1km当たり渋滞損失時間(万人・時間/年・km)[平成17年度]

「物流コストの低減」「ジャストインタイムの実現」による県内産業の競争力強化を図る！

物流ネットワークの強化に向けて

[STEP 1：県内主要港湾の機能分担]

(施策の効果)

- * 那覇港一極集中の是正による港内混雑の緩和

(実現に向けての課題)

- * 港湾機能の分散化による非効率化の是正
- * 適切な定期航路網の検討

[STEP 2：物流の効率化に向けての取組]

(施策の効果)

- * ジャストインタイムの実現
- * 主要幹線道路の渋滞解消

(想定される施策（案）)

- * 主要港湾・空港へのアクセス道路の整備
- * 輸出入にかかる港湾諸手続の簡素化
- * 国際貨物の窓口となる主要港湾の機能強化